

No. 3007

2021-2022年度

会 長 松村 秀一
幹 事 川口健太郎
R広報委員長 児嶋 正人



第2640地区
例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022年度クラブ方針

クラブで親睦を深め一人一人がそして
クラブが地域を明るくする



本日のプログラム

令和4年6月23日 第3008回

・会長・幹事報告

・ソング：「四つのテスト」

次回のお知らせ

令和4年7月7日 第3009回

- ・初例会
- ・新旧引継ぎ
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第3007回例会）

開催日 令和4年6月9日(木)

点 鐘 [松村君]

ビジターの紹介 [丸山親睦活動委員長]

ビジター: 凌 文彪 君(米山奨学生)

米山奨学金授与



松村会長より、凌文彪君に
6月分の米山奨学金が
授与されました。

ディスカッションリーダー認定証授与



ディスカッションリーダー認定証

上野山 栄作君
橋爪 誠治君 (右)
川口 健太郎君 (左)

ニコニコ箱の報告 [脇村SAA]

松村君: 本日はクラブ討論会です。意見交換よろしくお願
いします。

川口君: 本日のクラブ討論会、皆さん、ご意見を宜しくお
願い致します。

上野山(捷)君: 本日のクラブ討論会、よろしくお願
い致します。

中村君: 7月からコロナワクチン4回目接種が始まります。
対象となる方は早期に接種いただきますようお願い致
します。

中元君: 「ダメ。ゼッタイ。」薬物防止の募金よろしくお願
いします。

井上君: これからのクラブ活動、みなさん一緒に考えましょ
う。

木本君: 本日のクラブ討論会、宜しくお願
い致します。

丸山君: 皆さん、今日はクラブ討論会、活発なご意見をお
願
い致します。

児嶋君: 「これからのクラブ活動を考えよう」よろしくお願
い
します。

菅原君: 本日のディスカッション、宜しくお願
い
致します。

辻君: 本日のクラブ討論会、よろしくお願
い
します。

脇村君: 本日はクラブ討論会です。皆さん、よろしくお願
い
します。

出席報告 [木本例会運営委員長]

本日の会員数27名
(出席規定免除会員8名)
出席会員21名
(出席規定免除会員6名)

会長の時間 [松村会長]

「スポーツを止めない」

和歌山大学のクラブ活動は緊急事態宣言や蔓延防止措置が大阪に発令されると大学からの指示で活動停止になりました。この1年の半分以上活動停止でした。練習日数が短くなり、尚且つ学校の授業も半分以上がリモートになったようです。つまり学生同士が実際に顔を負わず機会が極端に少なくなりました。顔を合わせてコミュニケーションをとれなくなりお互いの関係がぎくしゃくしてしまった様子で、一部のクラブ部員が退部しました。下級生が特に多かったようです。ちなみに、関西学院大学では今年度から100%対面の授業になっています。



私自身は1月にオミクロン株による感染者が急増していたころはプールへ行くのを控えました。しかし、運動せずに2週間たつと肩こりがひどくなったのでまた行きました。すると来ている人がごく僅かでガラガラでした。結局危険な感じは全くありませんでした。しかし体調が戻るまで2か月かかりました。運動を続けることがとても重要と確信しました。

～明るい未来のために～

ウイズコロナでできること、チャレンジ！

これは日本スポーツ協会の雑誌 Sport Japanの特集記事のテーマです。内容の一部をご紹介します。

コロナ禍でも運動をする人が増えた種目はウォーキング・ジョギング・サイクリング・縄跳び・筋トレ・散歩でした。これらは一人でもできるスポーツ。

実施率が減少した種目は卓球・水泳・サッカーなどです。屋内でする競技や接触競技の実施が減った。

屋内競技では換気がとても重要。水泳は屋内プールが増えているのでやはり換気が重要。プールの水は消毒されているので心配ない。更衣室が危険なのでやはりここも換気に注意しなければならない。

3種の神器「マスク」「換気」「ワクチン」が大切だが「人数制限」も重要な対策効果が期待できる。子供のスポーツでは保護者どうし、子供と保護者が密にならないように配慮しなければなりません。

今年3月に東京マラソン2021が実施された。すべてのランナーは検査を受ける、65歳以上の参加者には辞退を促し、次回の出場権を与えるなどの対策を実施し25000人の参加者を19000人に絞った。大会運営者が考えられるあらゆる対策を講じ、開催した姿勢は意義あること。それでも「こんな時にケシカラン」という意見があるのももっともです。しかし、そればかりではスポーツがどんどん縮小してしまいます。

情報を収集し総合的に見たうえで判断する。そして、単に、危ないから止めようではなく、リスクの少ない活動にするにはどうすればいいか、そんな発想が重要ではないか。

その中で大事なことは、周囲の人や保護者の意向も確認しながら活動継続の可否を再検討するなど、根拠となる数字を持ちながら、実施するあるいは中止する基準を準備しておくこと。

コロナ禍の今、スポーツは大きな岐路に立たされています。健康を求める運動やスポーツ、一人で楽しめる活動があるのももちろんいい事です。

でも、私たちがやってきたのは、多くの人と一緒に運動やスポーツに親しむことであり。文明や文化としてスポーツを楽しんできました。人類が生み出したこの素晴らしい価値を持ち続けるために、今、どうするか……その点を考えたいと私は強く思います。

有田ロータリークラブの例会で人数制限はできません。しかし、出席人数に応じて座席の配置を調整し、少し換気をし、飲食しなければ感染リスクはとても小さいでしょう。

会場で食事をする通常例会にどんなタイミングで戻すのが良いのか検討すべき時が来たと私は考えています。

幹事報告 [川口幹事]

本日の報告事項4件ございます。

- ・第12回定例理事会報告。
- ・ザ・ロータリアン届いています。
- ・堺南RC クラブ解散の報告。
- ・各委員長へ委員会活動報告提出依頼。



ロータリー友誌 [菅原R広報副委員長]

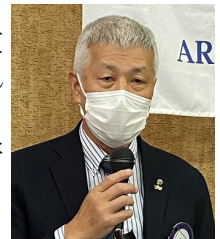
【横組】

P2(表紙裏)

ロータリー財団にウクライナの人道支援として「災害救援基金」が指定されました。

救援活動を支えるための正式な寄付窓口です。

ご寄付可能な方はこちらからなさせていただきます。



P7～

特集記事「規定審議会から見えてくるロータリーの方向性」

P8～11

3年に1度開催される規定審議会で2022年の審議結果抜粋が掲載されています。開催地はアメリカ・シカゴで“地区運営の試験的プロジェクトの件”、“人頭分担金を増額する件”、“ローターアクトクラブに関して”、“日本の地区・クラブの関心項目”、“日本の地区・クラブ提案で採択された制定案”など関心の高かった項目についてレポートされています。

P12～17

1989年以降に開催された「規定審議会の歴史」で主に会員身分・出席・例会の頻度等について年表形式で掲載されています。

P18～

“ロータリーの明日が築かれる「規定審議会」の理解のために”と題し、歴史的な基盤、主体はクラブであること、ロータリーの未来を形成するためにはの三つの視点から世話人事務局の釧路RC 小船井さんの記事が掲載されています。

P30

当第2640地区の地区大会の様子が掲載されています

【縦組】

2頁(表紙裏)

ロータリーの新しい重点分野「環境」について

4頁～

科学の目から見た海洋プラスチックの問題について

22頁

ロータリーアットワーク写真編に2640地区の河内長野RC、岩出RCの青少年社会奉仕活動の記事が掲載されています。

27頁

ロータリーアットワーク文章編に同じく大阪狭山RCの記念植樹の記事が掲載されています。

委員会報告

※次年度奉仕プロジェクト委員会〔菅原委員長〕

「ダメ。ゼッタイ。」運動の重点活動期間が6月～7月です。次年度募金期間が限定されるため、本日より募金箱を回覧させていただきます。ご寄付宜しくお願い致します。

※次年度奉仕プロジェクト委員会〔菅原委員長〕

有田川クリーン作戦の出欠について。出欠表のご記入のお願い。

※次年度幹事〔丸山君〕

次年度活動計画作成・提出のお願い。(6/30迄)

クラブ討論会

テーマ

「これからのクラブ運営を
考えよう！」

1. 今回のような活動制限がクラブに対してどのような影響を与えましたか？

・デメリット: 対面形式での開催が難しかったので親睦できる機会がとれなかった。ロータリーへの関心度が多少落ちたかもしれない。

メリット: Webでの配信ができた。今後どんな状態が起ころうとも例会が絶えることはない。

・限られた人しか例会に来ない。今後もこの状態が継続するかもしれないので、それに対処する必要がある。

・限られた人の参加というものに対する対処方法、どう参加を促したらよいか。

・例会場へ参加するのがベストだと思うが、全員会場へ

出席というのは時期尚早なのかとも思う。

・次年度の会長はきっと楽しい例会にしてくれる。会食さえしなければリスクは少ないのでは。

・ロータリーはみんなで集まって食事をするのも醍醐味のひとつ。1回休みでしたら、なかなか来にくい。

日本は少し過敏になり過ぎている。外国ではここまで徹底していない。オミクロン株は重症化率も下がっている。YouTubeは直接会いはしないが、会員どうしの絆は続いていく。

2. 現在の活動方法を会員の皆さまは、どのように捉えていますか？

・奉仕活動には相手がいる。相手に不安を与えるのであれば、やるべきではない。

例会場で一緒に卓話を聞く、食事をする。これが現在では一番ベストな状態なのかと思う。

・入会した当初から、コロナ禍だったのでロータリーの本来の活動が分からないまま。

これから勉強していくので色々教えてほしい。

3. 今回のように集まれない状態でも奉仕活動を行うには？ また何か方法は？

・今後、ウイズコロナとアフターコロナがスタートしていくと思うので、コロナに気を付けながら、通常に戻していく努力が必要。

共に汗を流して奉仕活動をしていくのがロータリーだが、その時の状況に応じてSNSを活用したり、寄付をしたり、奉仕の方法はいろいろあるのではないかと思う。奉仕を止めるのはよくない。

・Zoomを使えない人もいるので、各委員長が何らかの形で委員会を開催して、意見交換したりと、接触の機会を増やすべき。

4. 週報・HP・YouTube配信以外に会員の繋がりや事業の共有を行うには？

・今までは奉仕活動もでき、ちょっと飲みに行こうか、と会ったりしていたことが今はできない。

横の繋がり、委員会だけの繋がりではなく、色々な繋がりがあるのが望ましい。お酒なしのお茶会でもそういった機会を増やせればと思う。

5. 役割からロータリーを学びますが、若年会員や一般会員を含めて理解を深めるには、

どうすればよいでしょうか？

・コロナの終息を願うばかり。コロナが終息しないと何もできない。例会へ出席することがまず第一。自分もできるだけ来れるときは来るようにしている。

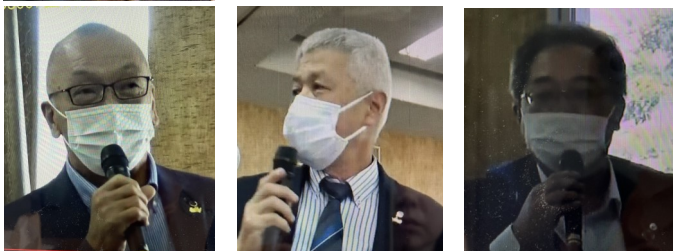
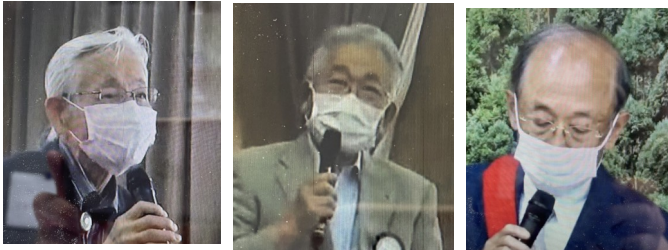
・今年度、委員長にあたっている若年会員がたくさんいたので、ロータリーを知ってもらおう良い機会になるはず

だったが、ことごとく活動がなくなったので機会が失われた。次年度もこうなったら、どうしたらよいのか。

・学ぶ機会としてはRLIが活用できる。ディスカッションできるので、受講したらロータリーの方向性などが分かる。

6.強いクラブとしていくには、どのような行動が考えられますか？

・少し前から、メンバーが減ったことが気になっていた。前は30名越していたのに。
会社は出来るだけコロナに感染しないように気をつけて、普通に活動している。
ロータリーも、メンバーを増やして、いつものように集まって、奉仕活動もできるのではないのか。それが強いロータリーに繋がっていくと思う。



次週
6月30日(木)は
休会です

再来週
7月7日(木)は
初例会です。

皆様ご出席を
お願い致します。

日程	7月の例会プログラム
7/7(木)	初例会 新旧引継ぎ
7/14(木)	委員会活動計画発表
7/21(木)	休会
7/28(木)	委員会活動計画発表 決算・予算審議 皆出席表彰